

製品名: TyrRS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19474**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	YARS
別名	Tyrosine--tRNA ligase, cytoplasmic (EC 6.1.1.1) (Tyrosyl-tRNA synthetase) (TyrRS)
遺伝子 ID	8565.0
SwissProt ID	P54577
免疫原	抗血清はヒト YARS の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 451-500

背景

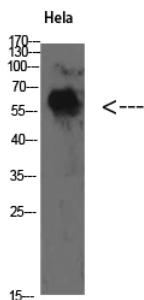
アミノアシル tRNA 合成酵素は、対応するアミノ酸による tRNA のアミノアシル化を触媒します。tRNA に含まれるヌクレオチドトリ

プレットとアミノ酸を結合させる中心的な役割を担うことから、アミノアシル tRNA 合成酵素は進化の過程で最初に出現したタンパク質の一つと考えられています。チロシル tRNA 合成酵素はクラス I tRNA 合成酵素ファミリーに属します。ヒトチロシル tRNA 合成酵素は、触媒部位を含む N 末端断片と、哺乳類酵素にのみ存在する C 末端断片の 2 つの部分に分割された後、サイトカイン活性が観察されています。N 末端断片はインターロイキン-8 様サイトカインであり、遊離した C 末端断片は EMAP II 様サイトカインです。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: $\text{ATP} + \text{L-チロシン} + \text{tRNA (Tyr)} = \text{AMP} + \text{二リン酸} + \text{L-チロシル-tRNA (Tyr)}$ 。、疾患: YARS の欠陥は、シャルコー・マリー・トゥース病優性中間型 C (CMTDIC) の原因です[MIM: 608323]。CMTDIC はシャルコー・マリー・トゥース病の一種で、脱髄性末梢神経障害と軸索性末梢神経障害の中間の臨床的・病理学的特徴を呈し、正中運動神経伝導速度は 25~45 m/秒です。機能: 2 段階反応でチロシンの tRNA(Tyr) への結合を触媒します。チロシンはまず ATP によって活性化されて Tyr-AMP を形成し、次に tRNA(Tyr) の受容体末端に転移します。類似性: クラス I アミノアシル tRNA 合成酵素ファミリーに属します。類似性: 1 つの tRNA 結合ドメインを含みます。サブユニット: ホモ二量体。

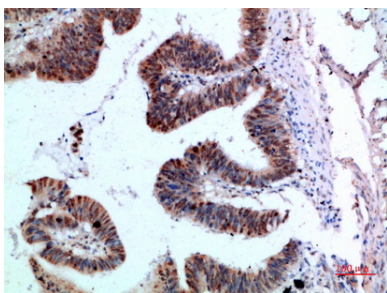
研究分野

アミノアシル tRNA 生合成;

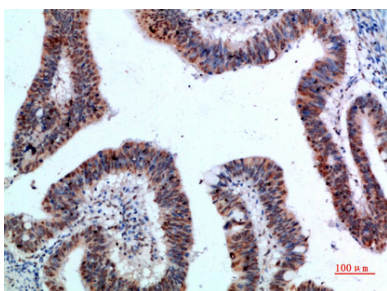
画像データ



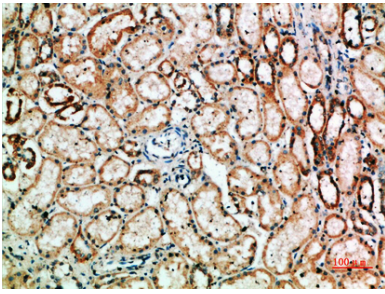
1:500 に希釈した TyrRS ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



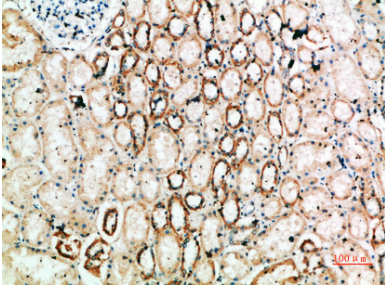
パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された